



園庭のもみじの木が色づき始めました。ある日、「あれ？なんか、かわってない？」と、もみじを見上げて、不思議そうに首をかしげている子がいました。「ほら、色がちがう」ともみじが赤く紅葉していることに気付くと、「見て！ほら、あそこ。色がちがうよ」と友達に知らせていました。「わ～！ほんとだ！」と教えてもらった子もニコリ。「赤いね～」「いや、あれは紫だよ」と「黄色もある」と、もみじの葉が緑から、いろいろな色に変化していることに心を動かしていました。身近な自然の変化に気づき、驚き、その驚きを友達と一緒に感じている姿が見られました。

2学期に入り、自分のやりたいことができる楽しさだけでなく、それが友達も一緒だともっと楽しいと感じ始めています。そして自分の思っていることや知っていることを、遊びや生活の中で友達に聞いてほしいと思う場面も増えてきました。伝え方が分からなくて黙ってしまったり、友達と思いがぶつかり合ったりすることもあります。自分の言葉で伝えることができるように、教師が互いの話を聞き出したり、言えるように励ましたりしています。

## どんぐりでいっぱい遊んだよ♪

ある日どんぐりコロちゃんから「僕を見つけにきてね♪」と手紙が届きました。「コロちゃん探しにいきたい！」と、自分でつくった探検バックをもって小園中学校や小中島公園にどんぐりコロちゃんを見つけに探検にでかけました。「ちっちゃくてかわいい」「こんなに大きい！」「帽子かぶってる」と目を輝かせていました。落ち葉の下や切り株の中にあつたどんぐりを見て「お昼寝かな」「かくれんぼしてるのかな？」と、どんぐりに心寄せている姿も見られました。

どんぐりがコロコロ転がっていくが楽しくて、一度にたくさん転がしたり、ひとつずつトンネルをくぐらせて転がしたりして遊ぶ子や、どんぐりを使って料理をつくることを楽しむ子、カップの中にいれて音になることを楽しむ子など、どんぐりで遊ぶことを楽しんでいます。

どんぐりでいっぱい遊んだり、どんぐりをつくったりかいたりして、秋の自然物にたくさん親しみました。

ちっちゃい～

ころがれ～！

葉っぱにかくれんぼ

1, 2, 3, 4, 5・・・



さて、12月3日（日）は作品展です。子どもたちの遊びや、子どもの心の表現が絵や作品になったものを展示しています。それぞれの遊びの様子や、作品について紹介します。

## 魔法使いごっこ

魔法使いの絵本を見て、雲の上にある魔法使いのお城に興味をもった子どもたち。「自分も魔法使いになりたい」「僕は仲間のドラゴンになりたい」など、魔法の国の仲間になって遊んでいます。空を飛ぶための修行をしたり、「時間よ、止まれ！」と自分で考えた魔法の練習をしたり、友達と一緒に魔法のイメージの中で遊ぶことを楽しんでいます。

### 魔法使い・魔法の国の仲間の衣装

「私は可愛い魔法使いになりたい」「僕はドラゴン！」「ユニコーンのお姫様になりたい」と、自分になりたい魔法の国の仲間になるために、魔法のステッキやほうき、帽子、スカートや羽など、自分で必要なものを考えてつくることを楽しんでいます。作り方が分からない時には、友達がつくったものを見たり、聞いたりして最後までやってみようとする姿も見られました。自分のつくったものができると、身につけて鏡で確認したり、ステージにあがってお披露目をしたりと、自分で考えてできたことを喜んでいました。

### 魔法使いのお城

魔法使いのお城では、みんなで「開けドア！」の魔法の呪文でドアをあけることを決めたり、病気になった時には魔法のスープをつくって仲間を助けたりして遊んでいました。友達と共通の言葉を言うことや、遊びの場面を共有して遊ぶことに楽しさを感じていました。「お城はピンクがいいかな」「紫もいいね」「ドアもつけたいな」と、みんなの考えたことが集まった魔法使いのお城です。ぜひ、「開けドア！」と魔法でドアをあけて覗いてみてください。



## バスごっこ

バスの車庫に行き、バスの運転手さんに憧れの気持ちをもった子どもたち。「自分もバスの運転手になりたい」「バスをつくりたい」とバスごっこが始まりました。「次は～JR 尼崎」「発車します」とアナウンスをしたり、「ピーピーピー」と切り返しながらかでバスを駐車させたりと運転手になりきって遊んでいました。

### バス・バス停・信号機など

初めは段ボールのままだったバスも、「タイヤがないと走れない」「降車ボタンもいる」「ライトもついてたよ」と、自分のバスに必要なものを考え、どの素材が自分のつくりたい物のイメージに合うか選びながらつくっていました。バスをつくることから、次はお客さんを乗せたいと思いバス停をつくったり、魔法使いや他のバスとぶつからないようにと信号機や歩道をつくったりしていました。

### バス営業所

車庫でバスを洗車や点検をしていた場面を思い出し、「自分のバスも綺麗にしよう」「故障したら修理しよう」とバスの営業所ができました。「ガソリンも必要だ！」とガソリンスタンドもできました。車庫で見たことや、普段の生活の中からの体験が子どもたちの遊びに繋がっています。



## 個人作品「魔法のケーキ」

ある日、魔法の国から魔法のケーキが届きました。「このケーキを食べるとね…」と魔法のケーキの話を始めると、「食べてみたいな」「私もつくりたい!」「食べたらオバケになっちゃうかもよ!」と魔法のケーキに心躍らせていました。

魔法の国から届いたケーキの材料はカチカチの雲(粘土)。まずはカチカチの雲をカー杯こねて、柔らかくして自分の好きなケーキの形にしました。ケーキに魔法のクリームやトッピングをのせてケーキづくりを楽しむ子どもたち。カラー粘土を自分の好きな形にしてケーキにのせたり、トッピングのせる場所を考えたりしながら、パティシエ気分でケーキをつくっていました。

ケーキができると「これ食べたら魔法使いに変身できるんだ♪」「美味しそうですね!」「この魔法のケーキでお誕生日会しよう」など、教師や友達に嬉しそうに話をする姿が印象的でした。

どのケーキも、夢があふれる素敵な魔法のケーキです。前から後ろからも、じっくり見てくださいね。



## 絵画

今までかいた作品の中から、自分で「これがいい!」と、お家の人に見てもらいたい絵を1枚選んでいます。子どもが、見て、触れて、体験して感じた心の表現をお楽しみください。